

デジタルものづくり 2020

開
催
概
要

- 【東京】 デジタルものづくり 2020 東京
□ 会期 2020年2月18日（火）～19日（水）
□ 会場 ザ・プリンスパークタワー東京
- 【名古屋】 デジタルものづくり 2020 名古屋
□ 会期 2020年11月18日（水）～19日（木）
□ 会場 ポートメッセなごや
- 【大阪】 デジタルものづくり 2020 関西
□ 会期 2020年12月9日（水）～10日（木）
□ 会場 インテックス大阪
- 【福岡】 デジタルものづくり 2020 九州
□ 会期 2020年12月15日（火）～16（水）
□ 会場 福岡国際センター

※名古屋、関西、九州会場は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会期を上記日程に延期して開催します。

開催のご挨拶

製造業の意思決定者に向け「ものづくりのデジタル化」で
新たな価値創造と顧客価値の最大化を実現する



デジタルものづくり

世界のものづくりは今、新たな局面を迎えています。

AI（人工知能）、IoT（Internet of Things）に代表される最先端コンピューティングの力や新しいデジタルツールによる変革を製造業にどう生かしていくか。ドイツのインダストリー4.0、米国のインダストリアル・インターネット、中国の中国製造2025といった主要国の動きは全て等しく「ものづくりのデジタル化」という目線で進化を競っています。

世界最高の品質を誇る日本のものづくり産業にとっても、もはやデジタル変革は避けて通れません。グローバルで勝ち抜くには、ものづくりのプロセスをリアルタイムで把握し、データ解析で「カイゼン」を加速する体制や、デジタルとコンピューティングの力で武装した賢い工場「スマートファクトリー」の構築・運用を急ぐ必要があります。

そこで日経BPでは、製造業の意思決定者に向け、ものづくりのプロセスとバリューチェーンをデジタル技術で変革し、新たな価値創造と顧客価値の最大化を実現する製品やサービスをカンファレンスと展示で紹介するイベント「デジタルものづくり 2020」を開催します。

本イベントは、スマートファクトリー、デジタルツインやCPS（サイバーフィジカルシステム）、ロボティクス、IT/OT convergence、3Dプリンター活用や新世代のPLMなど、デジタル技術でビジネスを変革した先端事例や具体的なユーザー事例などを通して、製造業のデジタル変革を支える貴社のソリューションを、ものづくりのデジタル化の投資判断に関与する方々に向け、強力に訴求できるイベントとして自信をもってお勧めします。

イベント「デジタルものづくり」とは

製造業の「デジタル変革」を支える
製品・技術のカンファレンスと展示会です。



製造業の意思決定者に向け、
ものづくりのプロセスとバリューチェーンを
デジタル技術で変革する
製造業の「デジタル化」という
新たなトレンドを紹介するイベントです。



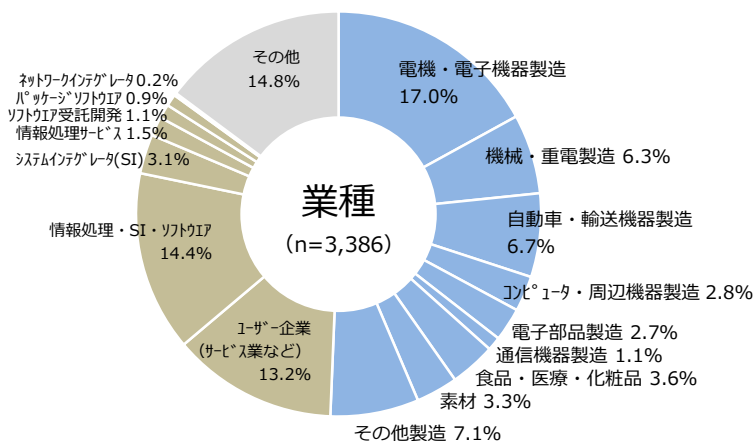
関連キーワード

- Digitalization (デジタル化)
- Digital Transformation (デジタル変革)
- スマートファクトリー
- 産業IoT
- デジタルツイン
- IT/OT convergence
- インダストリー4.0
- CPS (サイバーフィジカルシステム)

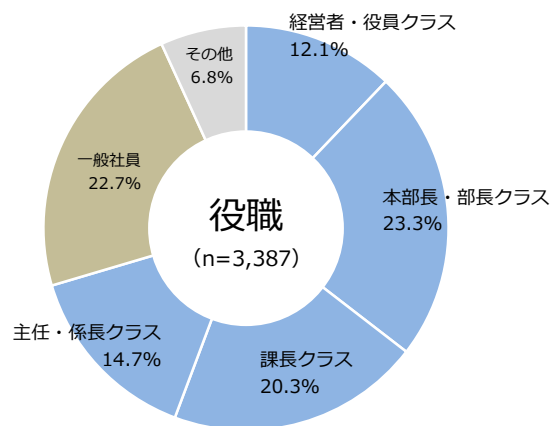
「デジタルものづくり」の来場者は

中心来場者は、
製造業のデジタル化に関連する投資判断に関与する方々です。

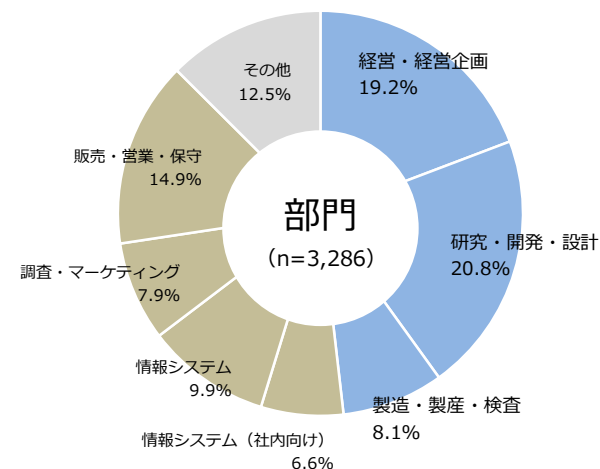
製造業が5割



役職者は7割



製造業革新の中核部門 (経営・開発・生産) が48%



具体的には、経営者、経営企画、研究開発、生産技術、製造部門の方々を中心にご来場いただいております。

「デジタルものづくり」の来場者は

デジタル変革に取り組む大企業からそのサプライヤーまで多様

※デジタルものづくり 2019 来場者より抜粋

●自動車・輸送機器

Honda R&D
Magneti Marelli Japan
アイシン・エイ・ダブリュ
アイシンエイダブリュ
アイシン高丘
アイシン精機
アルパイン
エドシャ・ジャパン
オートリブ
カルソニックカンセイ
コンチネンタル・オートモー
ティブ・ジャパン
ジャトコ
ジャパンマリンユナイテッド
スマートインプリメント
デンソー
デンソー
トヨタテクニカルディベロップ
メント
トヨタ自動車
トヨタ自動車九州
トヨタ車体
トヨタ紡織
ホンダエンジニアリング
マキタ工業株式会社
マツダ
ヤマハ発動機
小糸製作所
本田技術研究所
FTS

I H I ジェットサービス
SUBARU
アイ・シー・エル
エクスリサーチ
オートワークス京都
ケイテック
サトーラシ
デンソー I T ソリューションズ
ブリヂストン
ホンダアクセス
ミクニ
ミツバ
モビテック
ユタカエンジニアリング
ユニプレス技術研究所
現代自動車日本技術研究所
寿実業
船井総研研究所
椿本チエイン
本田技術研究所
本田技術研究所二輪R&Dセンター
古河A S
古河AS
高津伝動精機
三輪精機
山口電機工業
住友電装
小島プレス工業
昭和飛行機工業
新栄工業
新明工業

東急テクノシステム
日産自動車
日本精機
日本精工
日野自動車
本田技研工業
矢崎部品
有限会社マルケイ鉄工所

●機械・重電

IPGフォトリクスジャパン
JR東日本メカトロニクス
JUKI
NSKネットアンドシステムズ
SMC
THK
アトムクス
アルバック機工
キヤノンファインテックニスカ
キヤノン
グルンドフォスポンプ
グローリー
サンデンアドバンステクノロジー
シャープマーケティングジャパン
スパイラックス・サーコリミテッド
セルジャパン
ブリヂストンフローテック
ホーソーテクノロジー
ホクショー
ミナトエンジニアリング

ヤンマー船用システム
ロザイ工業
愛三工業
一般財団法人製造科学技術センター
一般社団法人日本電機工業会
宇部興産
荏原工業洗浄
横河ソリューションサービス
サンナン
松本鉄工所
石川工具研磨製作所
日立パワーソリューションズ
平和
IHI
IHI検査計測
コガネイ
ササキ製作所
サトー
セガインタラクティブ
ヒラノテクシード
フジキカイ
メイク
ヤスダコーポレーション
リコー
荏原製作所
久保田製作所
栗本鐵工所
高見沢サイバネティックス
昭和真空
日立パワーソリューションズ
日立建機ティエラ
日立製作所

福井鉄工所
明電舎
岩井機械工業
京セラ
兼松エンジニアリング
古河ロックドリル
三菱重工業
三菱日立パワーシステムズ
山田機械工業
芝浦メカトロニクス
住友重機械工業
新明工業
清水デザイン事務所
大崎エンジニアリング
東芝機械
東芝三菱電機産業システム
日精
日本精工
日本包装機械
日立造船
富士電機
兵神装備
木内製作所

●エネルギー

旭化成
第一エネルギー設備
東京ガス
東京電力パワーグリッド
東芝エネルギーシステムズ
日立造船

「デジタルものづくり」の来場者は

デジタル変革に取り組む大企業からそのサプライヤーまで多様

※デジタルものづくり 2019 来場者より抜粋

●その他製造

AGC
AGC京浜工場
aheun co.ltd
D I C
KMK
O X E N
woongbee ts,.ltd
アキレス
アダマンド並木精密宝石
イワブチ
カール事務器
キリンテクノシステム
クラブウ
グンゼ
ダイレック
ディービーエックス
テルモ
トッパン・フォームズ
ナカシマプロペラ
ニチハ
ヒロセ電機制御製作所
プロトデザインルーム
ホクエー産業
モリタ宮田工業
ヤスハラケミカル
リバーホールディングス
横河ソリューションサービス
横河電機

三條機械製作所
諏訪田製作所
竹村製作所
DNPイメージングコム
DNPテクノバック
JVIS
LIXIL
アシックス
カブク
ゴールドウインテクニカルセンター
コクヨMVP
シンクロン
ソノコム
ソフト99コーポレーション
タイカ
タカラトミー
テックコーポレーション
デュプロ
トダ
トプコン
ナカ工業
パイオニア
バンダイ
ファット・カンパニー
フジクラ
ブリヂストン
ミキモト装身具
ミスミ
ヤクルト本社
ラッキートレンディ
コバック

佐藤工業所
信電舎
成田製陶所
筑波化成
中本鉄工
塚谷刃物製作所
電研社
福電
堀場エステック
堀場製作所
廣済堂
関西オートメーション
吉田木材
共同印刷
金井重要工業
公益社団法人日本アイソトープ協会
広島アルミニウム工業
桜護謄
三共グラフィック
三光産業
三菱重工エンジン&ターボチャージャ
三菱電機エンジニアリング
小林製薬
信菱電機
水上印刷
盛岡セイコー工業
積水マテリアルソリューションズ
積水化学工業
積水化学北海道
第一精密産業

東リ
東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ
東洋合成工業
東洋製罐
特種メーテル
凸版印刷
日機装
日工精機
日創プロニティ
日東工器
日東樹脂工業
日本フィルコン
日油技研工業
入船プラスチック工業
白元アース
富士フイルム
富士フイルム静岡
北三
有限会社水野メッキ工場
和信化学工業
ユニ研
遠藤製作所
丸文建材
笠間製本印刷
議事録発行センター
菊池襖紙工場
川重テクノロジー
大日本印刷
大隆工業
MTI.Network

「デジタルものづくり」の協賛社は

設計プロセス、生産プロセス、バリューチェーン、ネットワーク、情報共有、
働き方を変革するソフト、ハード、サービスを提供する各社にご協賛いただいております。

過去の同イベント 協賛実績

3Dシステムズ
ABB
Coltテクノロジーズ
EPLAN Software & Services
HOYAサービス
IFSジャパン
IHSグローバル
ISON Technology
JTEKT
Mouser Electronics
NTTコミュニケーションズ
NTTデータ関西
PTCジャパン
SystemBase
昌新
アクティシステム
アドバンテック
アラクスラネットワークス
アルチザネットワークス
ウイングアーク1st
エレクトレット環境発電アライアンス
エム・ソフト
オートデスク

オブティマル・プラス
オムロン
キャディ
キャデナス・ウェブ・ツー・キャド
キャノンITソリューションズ
コア
コムスクエア
ザイリンクス
シーメンス
JIG-SAW
ジェイティエンジニアリング
JDAソフトウエ・ジャパン
ジェムアルト
シスコシステムズ
システム計画研究所
シンクロン・ジャパン
図研
図研エルミック
スカイディスク
ストラタシス・ジャパン
ソリッドワークス・ジャパン
ダッソー・システムズ
データデザイン

テクノア
テクノレージ
東芝情報システム
トーテックアメニティ
トビー・テクノロジー
トレンドマイクロ
日本IBM
日本マイクロソフト
日本ワムネット
パナソニックソリューションテクノロジー
バリューテクノロジー
プロトラブズ
ポリテックジャパン
HOYAデジタルソリューションズ
マスプロ電工
三菱ケミカルエンジニアリング
メガコスモ
横河電機
横川ソリューションズ
楽天コミュニケーションズ
ラティス・テクノロジー
ラマソフト
(五十音順)



2019年の基調講演（東京・大阪・名古屋・九州）

スマートファクトリー、コネクテッドエンタープライズ、IT/OT convergence、Connected Industries など、製造業のデジタル変革の最新トピックスを紹介。

製造業のマネジメント層を中心に多くのキーパーソンにご来場いただきました。

AeroEdgeが目指す未来のものづくり－航空機部品製造×デジタルテクノロジー

AeroEdgeはジェットエンジン向けタービンブレードの量産を手掛け、仏大手エンジンメーカーに直接販売している。従来のものづくりの環境は付加価値（Additive Manufacturing）やIoTによる自動化のテクノロジーによって変化しつつあり、AeroEdgeにおける具体的な取り組みを紹介する。



AeroEdge
執行役員CTO
水田 和裕 氏

IoT・AIならびに協働ロボット活用によるスマートファクトリー化への推進

照明市場はここ数年でLED化が一気に進んだ。パナソニックのライティング事業のグローバル化・製造拠点である新潟工場は、この大きな市場変化に対応するべく、IoT・AI・協働ロボットを活用したスマートファクトリー化を推進。その取り組みと、照明のものづくりの今後の方向性を紹介する。



パナソニック エコソリューションズ社
ライティング事業部 ライティング機器BU 新潟工場
工場長（新潟製造センター 総務部長）
森川 誠 氏

ロボット&IoTで改善加速する次世代スマートファクトリー ～部品4000種類の多品種少量生産を実現するオークマDS2部品工場～

2017年に稼働したDS2部品工場では、NC旋盤用部品4,000点の多品種少量生産、遅延72時間の無人稼働を実現した。本講演では3つの特徴 ①ビジョン・カセンサを駆使したロボットによる自動化、②工場制御周期の高速化による物流管理、③「見える化システム」での全体最適による改善サイクルの加速を紹介する。



オークマ
製造本部 生産技術部
部長
一木 洋介 氏

デジタル変革迎えた自動車産業、世界の最新動向と生き残りの条件（仮）

「CASE」（接続性、自動運転、シェアリング、電動化）をキーワードに、自動車産業は今まさにデジタル技術の進化による大きな変革期を迎えている。ITベンダーが参入して多大な影響力を持つようになるなど、そのうねりはクルマの開発・生産から販売や利用形態まで、サプライチェーンのあらゆるプレーヤーの事業と存在意義に転換を迫る。世界の自動車業界でいま何が起きている、各社はどこへ向かおうとしているのか。国内外の自動車産業に精通するローランド・ベルガー・長島聡氏が、最新動向を交えて目指すべき姿を説く。



ローランド・ベルガー
代表取締役社長・工学博士
長島 聡 氏

IoTとAIによる高効率生産を実現、OKIデータの挑戦

世界に点在する生産拠点を仮想インライン化した工程管理システム『OPTAS』による、拠点を跨いだ生産改革活動と弊社が目指すスマート工場への取り組みを紹介する。特に、スマート工場化への一歩として開発・導入した『OPTAS』と連携した『AIにより自ら効率化するロボット生産システム』の事例を紹介する。



沖データ
生産統括本部 LED統括工場 生産技術部 第二チーム
チームリーダー
新井 保明 氏



沖データ
技術開発本部 コンポーネント設計部 第一チーム
サブチームリーダー
谷川 兼一 氏

日系最大級のEMS「UMCエレクトロニクス」が創るスマートファクトリー

弊社は、車、産業機器・OA分野のグローバル企業から、基幹ユニットや完成品の一貫した製造を委託しています。中国工場での人件費高騰に対応し、現場改善に加え、LCAと呼ぶ生産設備を自社で設計・製造し、日本品質のものづくりを実現しています。進化を続けるスマートファクトリーを構築した事例をビデオと共に紹介します。



ユー・エム・シー・エレクトロニクス
代表取締役社長
内山 茂樹 氏

2019の基調講演（東京（秋））

具体的なユーザー事例を中心に、製造業のデジタル変革の最新実践事例を紹介。
製造業のマネジメント層を中心に多くのキーパーソンにご来場いただきました。

デジタル時代におけるダイキンの挑戦 ～データ活用ビジネスや人材育成について～

ダイキン工業は空調機器をお客様に届けるだけではなく、据付け・運用・保守に至るまでの空調ソリューションの中で、データ活用を切り口に新たな価値づくりを目指しています。また工場の生産性向上、様々なプロセスの改善・刷新などの現場導入を全社的に推進すべく情報技術大学の奨励など人材育成にも取り組んでいます。



ダイキン工業
テクノロジー・イノベーションセンター
副センター長（IoT・AI担当）
榎島 良久 氏

IoT時代のものづくり ～製造現場のデジタル化がもたらす新たな価値～

（株）AFC研究所では豊富な経営・生産技術ノウハウなどをベースに多くの企業様と共に、現在の厳しい社会環境・事業環境の中で、従来の豊富な労働力と属人的なノウハウに依存した生産プロセスからの脱却を図り、IoTの思想に基づいたモノづくり改革を推進しており、そのモノづくりの考え方を事例と共に紹介します。



AFC研究所
代表取締役
浅井 真吾 氏

デジタルものづくり【スーパーユーザーパネル】 ～ものづくりデジタル化の現状と今後～

製造業におけるデジタル革新、スマート工場化の世界的ムーブメントは、現実への実装段階に入りました。各国の先進ユーザーは製造現場へのデジタル活用で着実な成果を出しています。本基調講演では、世界をリードするものづくりデジタル化の先進ユーザー企業を招き、それぞれの取り組みをご紹介いただくと共に、相互に意見交換するパネルディスカッションで最新動向と未来を模索します。



<パネリスト>
マジダ
執行役員
MD&IT本部 本部長
木谷 昭博 氏



独シーメンズ
ファクトリーオートメーション
海外営業担当シニアディレクター
サッチャ・メヌル 氏



ロックウェル・オートメーション
エンタープライズアカウント&ソフトウェアセールス担当副社長
ジョセフ・バルトロメオ 氏



<モデレーター>
日経ものづくり編集長
山田 剛良

IoT/AIを活用した、具体例に見るDMG MORIのデジタルファクトリー

製造業のお客様を取り巻く環境の激化に伴い、工作機械メーカーが提供するソリューションも大きな変化を遂げています。多軸化や複合化、デジタル化といった技術を駆使して、DMG MORIがトータルソリューションプロバイダとしての価値向上を目指す取り組みをご紹介します。



DMG森精機
専務執行役員
川島 昭彦 氏

米中新冷戦時代の日本企業が取るべきサプライチェーン戦略

米中貿易摩擦、アップルの「脱中国」、輸出激減を巡る日韓の対立一一、製造業がこれまで前提としてたグローバル経済の構図が急速に変化している中、日本企業は今後どのような戦略を取ればよいのか、あらゆる物と情報の流れが集約される「サプライチェーン」の観点から、気鋭のコンサルタントが解説します。



未来調査研究所
コンサルタント
坂口 孝則 氏

ブロックチェーン技術を活用したサプライチェーン管理 ～TradeLensの取り組み～

マースクとIBMによって発足したTradeLensは貨物のリアルタイムの可視性、安全的な貿易書類ペーパーレス化を提供することにより、荷主に在庫管理の高度化・災害やストライキなど有事での迅速な代替輸送の判断・取引コストの最適化・付加価値の高い業務への人材のシフトなどの実現を支援いたします。



A. R. モラー・マースク
TradeLens グローバル戦略企画担当
平田 燕奈 氏

「デジタルものづくり 2020」 開催概要

2020年は、製造業のデジタル変革をテーマに、東京、名古屋、大阪、九州で開催。
(秋は、10/14-16 東京ビッグサイトにて開催予定です)

東京 開催	■ 名 称	デジタルものづくり 2020 東京
	■ 会 期	2020年2月18日(火)～19日(水)
	■ 会 場	ザ・プリンスパークタワー東京
	■ 主 催	日経BP
	■ 入場料	3,000円(招待者・事前登録者は無料)
	■ 来場者数	15,000人(予定) ※同時開催展含む

名古屋 開催	■ 名 称	デジタルものづくり 2020 名古屋
	■ 会 期	2020年11月18日(水)～19日(木)
	■ 会 場	ポートメッセなごや
	■ 主 催	日経BP
	■ 入場料	3,000円(招待者・事前登録者は無料)
	■ 来場者数	5,000人(予定) ※同時開催展含む

大阪 開催	■ 名 称	デジタルものづくり 2020 関西
	■ 会 期	2020年12月9日(水)～10日(木)
	■ 会 場	インテックス大阪
	■ 主 催	日経BP
	■ 入場料	3,000円(招待者・事前登録者は無料)
	■ 来場者数	6,000人(予定) ※同時開催展含む

九州 開催	■ 名 称	デジタルものづくり 2020 九州
	■ 会 期	2020年12月15日(火)～16(水)
	■ 会 場	福岡国際センター
	■ 主 催	日経BP
	■ 入場料	3,000円(招待者・事前登録者は無料)
	■ 来場者数	4,000人(予定) ※同時開催展含む

※名古屋、関西、九州会場は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会期を上記日程に延期して開催します。

スポンサープラン「東京」

【東京】 デジタルものづくり 2020 東京

□ 会期 2020年2月18日（火）～19日（水）

□ 会場 ザ・プリンスパークタワー東京

東京

■ プランメニュー「東京」

メニュー	プラチナスポンサー	ゴールドスポンサー	シルバースポンサー
価格(消費税別)	600万円	400万円	150万円
展示ブース	6小間	4小間	2小間
セミナー	400名会場 40分	150名会場 40分	100名会場 40分
社名ロゴ掲載	公式サイト、公式ガイド、会場バナー	公式サイト、公式ガイド	公式サイト
レビュー掲載(web)	日経 xTECH Specialレビュー (IT、製造、建設よりカテゴリ選択) ※マーケティングカテゴリ選択の場合は日経クロストrend ネイティブタイアップでの掲載となります(別途資料有)	日経 xTECH Specialレビュー (IT、製造、建設よりカテゴリ選択) ※マーケティングカテゴリ選択の場合は日経クロストrend ネイティブタイアップでの掲載となります(別途資料有)	—
レビュー掲載(雑誌)	4色2ページ 2誌 日経コンピュータ/日経NETWORK/日経ものづくり/ 日経エレクトロニクス/日経コンストラクション/ 日経アーキテクチュア ※上記6誌から2誌選択4C2P ※マーケティングカテゴリ選択の場合は月刊日経クロ ストrend1誌での掲載となります(別途資料有)	4色1ページ 2誌 日経コンピュータ/日経NETWORK/日経ものづくり/ 日経エレクトロニクス/日経コンストラクション/ 日経アーキテクチュア ※上記6誌から2誌選択 ※マーケティングカテゴリ選択の場合は月刊日経クロ ストrend1誌での掲載となります(別途資料有)	—
ターゲティングメール	2万通 ※セミナーもしくは展示内容紹介に限る	1万通 ※セミナーもしくは展示内容紹介に限る	—

スポンサープラン「名古屋」「関西」「九州」

【名古屋】 デジタルものづくり 2020 名古屋

- 会期 11月18日（水）～19日（木）
- 会場 ポートメッセなごや

【関西】 デジタルものづくり 2020 関西

- 会期 2020年12月9日（水）～10日（木）
- 会場 インテックス大阪

【九州】 デジタルものづくり 2020 九州

- 会期 2020年12月15日（火）～16（水）
- 会場 福岡国際センター

名古屋

関西

九州

■ プランメニュー「名古屋」「関西」「九州」

メニュー	プラチナスポンサー	ゴールドスポンサー	シルバースポンサー
価格（消費税別）	450万円	300万円	150万円
展示ブース	6小間	4小間	2小間
セミナー	200名会場 40分	100名会場 40分 80名会場（札幌のみ） 40分	100名会場 40分 80名会場（札幌のみ） 40分
社名ロゴ掲載	公式サイト、公式ガイド、会場バナー	公式サイト、公式ガイド	公式サイト
レビュー掲載（web）	日経 xTECH Specialレビュー （IT、製造、建設よりカテゴリ選択） ※マーケティングカテゴリ選択の場合は日経クロストrend ネイティブタイアップでの掲載となります（別途資料有）	日経 xTECH Specialレビュー （IT、製造、建設よりカテゴリ選択） ※マーケティングカテゴリ選択の場合は日経クロストrend ネイティブタイアップでの掲載となります（別途資料有）	—
レビュー掲載（雑誌）	4色2ページ 2誌 日経コンピュータ/日経NETWORK/ 日経ものづくり/日経エレクトロニクス ※上記4誌から2誌選択 ※マーケティングカテゴリ選択の場合は月刊日経クロス トレンド1誌での掲載となります（別途資料有）	4色1ページ 2誌 日経コンピュータ/日経NETWORK/ 日経ものづくり/日経エレクトロニクス ※上記4誌から2誌選択 ※マーケティングカテゴリ選択の場合は月刊日経クロス トレンド1誌での掲載となります（別途資料有）	—

スポンサープラン「割引セット」

東京

関西

名古屋

九州

■ 割引セットメニュー

セットプラン	5 展セット	4 展セット		3 展セット		2 展セット	
	東京/名古屋/ 札幌/関西/九州	東京+ほか 3 展	東京を除く 4 展	東京+ほか 2 展	東京を除く 3 展	東京ほか+ 1 展	東京を除く 2 展
	レビュー2回	レビュー2回	レビュー1回	レビュー2回	レビュー1回	レビュー2回	レビュー1回
プラチナ	1700万円	1450万円	1300万円	1200万円	1050万円	950万円	800万円
ゴールド	1250万円	1050万円	950万円	850万円	750万円	650万円	550万円
シルバー	550万円	470万円	470万円	380万円	380万円	280万円	280万円

※シルバースポンサー協賛には、レビュー掲載 (WEB、雑誌) は含まれていません。

小間出展プラン（全会場共通）

■ 小間出展料金・仕様

1小間 ￥400,000-

（消費税別）

（間口）2m×（奥行）1.7m

（展示台：幅2m×奥行0.7m×高さ1m）

■ ターンキーブース（1小間）の仕様

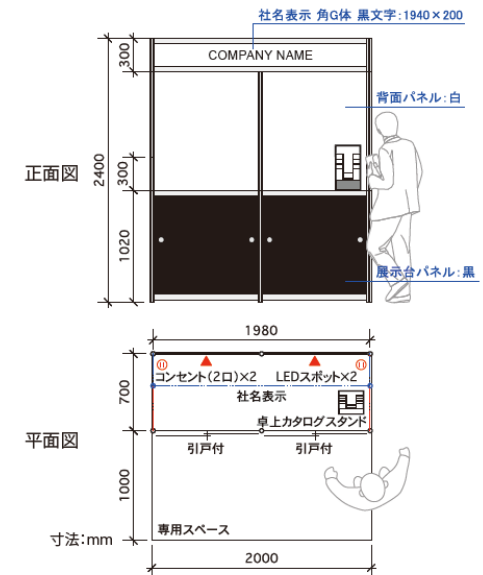
社名表示	統一書体（角ゴシック）／W1,950×H200 ※ロゴ使用の場合は別途15,000円（税別）がかかります。 ※東京のプラチナ／ゴールドスポンサーと関西・名古屋のプラチナスポンサーはロゴの仕様を含みます。
バックパネル	バックパネル（グレー）
展示台	W2,000×D700×H1,000（収納時）
卓上カタログスタンド	A4サイズ（3段）×1ヶ
照明	LEDスポット10W×2灯
コンセント	2口コンセント×2ヶ（合計500Wまで）

※PC、モニターは、レンタルまたはお持ち込みでお願いします。
説明パネルの取り付けサポートします。

（小間イメージ図）



（注）展示台の前に
モノは置けません



オプションメニュー

ソリューションステージ

展示会場内に、オープンなセミナースペースを設置します。新製品発表やソリューション提案、事例紹介などのプログラムを実施することができます。自社展示ブースとの複合的な情報発信にご活用ください。



1 枠 ￥100,000-（消費税別）

- 講演時間 1 枠 = 20分
- 設 備 座席数 = 20~30隻（立ち見も可能）
- 機 材 音響設備、プロジェクター、スクリーンなど（予定）

※希望時間帯が重なった場合は、先着順にて決定いたします。
※申し込み多数の場合は枠数制限など別途調整する可能性があります。

オプションメニュー

ホワイトペーパーダウンロード型 オンラインリード獲得プラン（ベーシック）利用料金

¥400,000-（消費税別）
（件数保証：80件/獲得期間12週間） ※出展者限定価格

- 1 日経 xTECH Active に貴社提供のホワイトペーパーを掲載
- 2 日経 xTECH Active編集部がホワイトペーパーの紹介記事を執筆
- 3 資料をダウンロードした読者のリードをリアルタイムで提供

見込み顧客との接触、事前アポイントなどが可能に！

※別途資料をご用意しております。公式サイトからダウンロードいただくか、事務局までお問い合わせください。

お申込みとスケジュール

■ 出展申込

下記のURLの「Web申込サイト」より「出展規約」に同意の上お申込ください。
受付完了後、事務局より受領のご連絡をさせていただきます。

<https://nkbp.jp/d-inov>

■ スケジュール

□ 申込開始日 2019年9月20日（金）12時

□ 申込締切日 東京 2019年11月29日（金）
その他の地域 2020年8月7日（金）

※申込締切日までは、キャンセル費用はかかりません。ただし、申込締切日の翌日より100%のキャンセル費用が発生しますので、ご注意ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、主催者が開催前に展示会を中止せざるを得ないと判断した場合、お支払い済みの出展料金は返金します。すでに実施済みのメニュー（広告など）がある場合、その分の費用は除きます。

※名古屋・関西・九州の小間位置選定会については、申込締切日以降にご案内させていただきます。

■ 申込方法

本イベントの出展申込は「[Web申込サイト](#)」からのみの受付となります。

■ 小間位置の決定について

・本イベントの小間位置は「小間位置選定会」にて決定します。各地域・各出展エリアごとに、「小間数の多い順」にご希望の小間位置を選定いただけます。同地域、同出展エリア、同小間数の出展社が複数ある場合、「出展申込順」により小間位置を選定いただけます。選定会にご欠席の場合は、事務局にて小間位置を決定いたします。

■ セミナー受講者リストの提供について

会期終了後、セッションごとに事前・当日登録者リストをとりまとめ、1週間後を目処にご提供いたします。なお、会期前のリスト提供は行いません。

■ ブース内プレゼンテーションコーナーの設置について

3小間以上の出展の場合、ブースの1部をプレゼンテーションコーナーとして仕様変更することができます。「ブース仕様変更」を専用ウェブサイトよりお申し込みください。

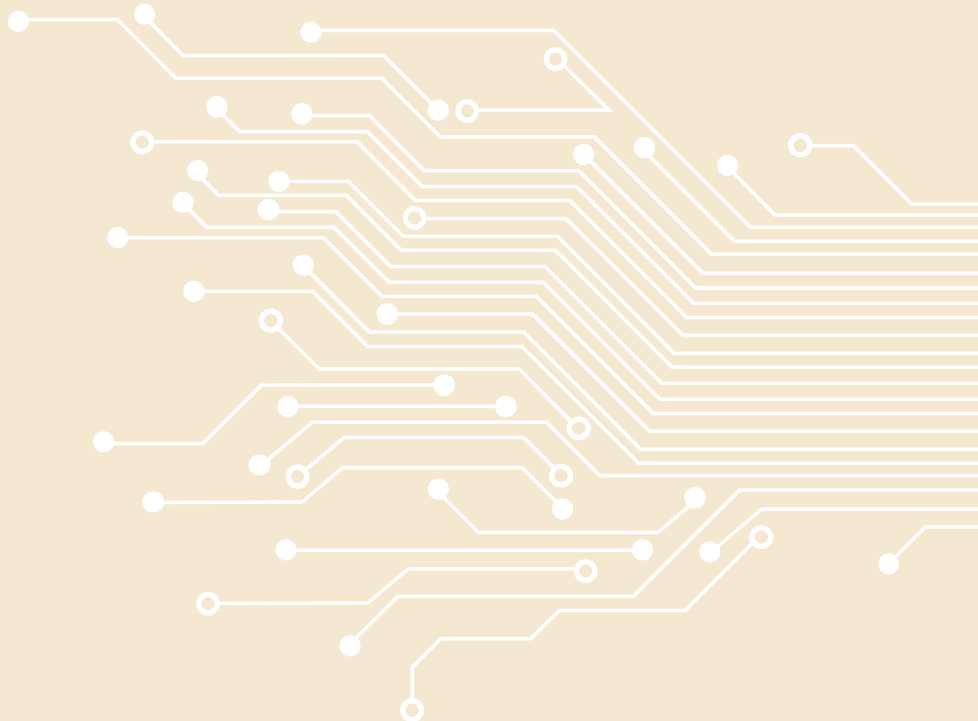
■ ブースの仕様変更について

事務局の許可なく自社ブースの施工・装飾及び仕様変更はできません。東京では12小間以上、名古屋・関西・九州では6小間以上の出展の場合、事務局指定業者の施工によりブースを仕様変更することができます。ブースの仕様変更及び備品の追加、モニタなどのAV機器のレンタル・取り付けについては事務局までお問い合わせください。

■ 指定業者以外のブース施工・装飾について

事務局の許可なくブースの仕様変更はできません。東京では12小間以上、関西・九州・名古屋・札幌では6小間以上の出展の場合、事務局指定業者の施工によりブースを仕様変更することができます。ブースの仕様変更及び備品の追加、モニタなどのAV機器のレンタル・取り付けについては事務局までお問い合わせください。

（注）事務局指定業者以外でのブースの施工・装飾はできません。ただし、東京のプラチナスポンサーで12小間以上の出展社に限り、出展申込の前にご相談いただくことで、計画搬入により、指定業者以外でブース施工・装飾を行うことができる場合があります。



デジタルものづくり

お問い合わせ先

日経BP イベント事務局（デジタルイノベーション）

〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12

TEL : 03-6811-8083

E-Mail : d-inov@nikkeibp.co.jp

日経BP 技術メディア広告部

TEL : 03-6811-8021

E-Mail : dk-ad@nikkeibp.co.jp